



Title	職場・業務紹介 生物組織構造解析センター（電子顕微鏡室）
Author(s)	牧野, 由里子
Citation	北海道大学大学院農学研究科技術部研究・技術報告, 11, 22-22
Issue Date	2004-03
Doc URL	https://hdl.handle.net/2115/35464
Type	departmental bulletin paper
File Information	11_p22.pdf



<職場・業務紹介>

生物組織構造解析センター（電子顕微鏡室）

牧野 由里子

<職場紹介>

本センターは大学院農学研究科および農学部共同利用施設で、生物組織構造解析センター運営委員会によって運営されています。利用希望者には利用申請書を提出していただいております。センターには電子顕微鏡室と生物組織画像解析システム室があります。電子顕微鏡室には透過型／走査型電子顕微鏡各種とその周辺機器、生物組織画像解析システム室には共焦点レーザー顕微鏡など光学顕微鏡と画像解析システム装置が設置されています。

<仕事内容>

主な仕事は、顕微鏡および周辺機器の保守管理、利用者への機器操作の指導や技術支援です。私は特に、走査型電子顕微鏡と光学顕微鏡・共焦点レーザー顕微鏡およびそれらの周辺機器を扱っております。

保守管理では、機器のクリーニング、消耗品や部品の交換・管理、故障時の対応をしています。利用者への指導では、主に初めて利用される人たちに機器の操作方法などを教えています。操作の仕方を正しくしないと機器の故障につながることもあるため、丁寧な指導を心掛けています。技術支援では、主に試料作製技術等の支援を行います。顕微鏡観察では、機器の操作の他に観察する試料も重要です。試料作製には試料の種類や使用する顕微鏡、観察の目的などによって様々な方法があります。それらの方法を一つずつ修得し、その知識と技術を提供していけたらと思っています。

<今後の抱負>

これまで電子顕微鏡を使用したことのなかった私は植物や細菌などのミクロの世界に感動し、楽しく作業させていただいております。

この1年、走査型電顕、共焦点レーザー顕微鏡など機器の操作、試料作製方法を教えていただきました。しかし、“方法”は覚えましたが、まだまだ常に良い画像を得るまでには至っていません。試料作製も、目的にあった試料づくりをしていくためにはもっと知識が必要です。これからますます技術や知識の習得につとめ、利用者に還元していきたいと思っています。